

第275回教育研究評議会議事録

日時 令和5年3月14日(火) 15時00分～17時40分
形式 対面会議
出席者 松尾, 杉山, 門松, 藤巻, 木村(彰), 周藤, 矢野, 園田, 枝廣,
寺崎, 木村(宏), 宮崎, 土川, 岡田, 森吉, 山岡, 廣明, 戸田山,
益谷, 成瀬, 草野, 小寺, 石黒, 永田, 森(健),
浅野, 池田, 川口, 服部, 森(郁), 渡部の各評議員
(オブザーバー)
高橋事務局長, 水谷, 佐宗, 佐久間, 中東, 東村, 武田の各副総長
角間監事, 川北審議役
大野ベンチャー・ビジネス・ラボラトリー長
加藤学術研究・産学官連携推進本部本部長補佐
新美建築課長
(事務職員)
事務局関係職員及び部局関係職員

懇談事項

- 1 工学部推薦入試の女子枠について
総長から, 工学部推薦入試の女子枠について懇談したいとの提案があり, 宮崎工学研究科長から配布資料に基づき説明があった後, 意見交換を行った。
- 2 「教職員のワークライフバランスを応援するアクションプラン」の周知徹底について
総長から, 「教職員のワークライフバランスを応援するアクションプラン」の周知徹底について懇談したいとの提案があり, 東村副総長から配布資料に基づき説明があった後, 意見交換を行った。

審議事項

- 1 名古屋大学ディープテック・シリアルイノベーションセンターの設置について
総長から, 名古屋大学ディープテック・シリアルイノベーションセンターの設置について, 審議願いたい旨提案があった。
次いで, 門松副総長及び大野ベンチャー・ビジネス・ラボラトリー長から, 配付資料に基づき, 名古屋大学ディープテック・シリアルイノベーションセンターの設置について説明があった後, 審議の結果, 本件については, 教育研究評議会として了承することとした。
- 2 東海国立大学機構における研究上の不正行為に関する取扱規程等の制定(案)について
総長から, 東海国立大学機構における研究上の不正行為に関する取扱規程等の制定(案)について, 審議願いたい旨提案があった。

次いで、中東副総長から、配付資料に基づき、本件について令和5年2月21日開催の教育研究評議会を持ち帰り事項とした結果、意見の提出があり、部局からの意見及びその回答について説明があった後、審議の結果、本件については、教育研究評議会として了承することとした。

3 教育研究評議会規程第3条第1項第15号関係評議員の選出について

総長から、教育研究評議会規程第3条第1項第15号関係評議員の選出について、審議願いたい旨提案があった。

次いで、総長から教育研究評議会規程第3条第1項第15号関係評議会委員の選出に当たっては、本来であれば、各人の業績等について説明した上で投票願うべきところ、審議を効率的かつ迅速に行うため、事前に推薦書等を送付したため、業績等の説明は省略する旨発言があった。

引き続き、投票に当たっては、各研究科から3名の推薦があったため、令和4年2月1日教育研究評議会決定「教育研究評議会規程第3条第1項第15号関係評議会委員の選出方法について」に基づき本評議会において選出者数分の連記無記名で投票を行うこと、投票の結果、得票数の上位から順に2名を評議員として選出することについて説明があった。

本件定足数を確認した後、投票による審議の結果、星野幸代教授、山崎真理子教授の2名を教育研究評議会規程第3条第1項第15号関係評議会委員とした。

なお、1名の次点候補者については、日比野絵美助教とし、任期途中において何らかの理由により教育研究評議会規程第3条第1項第15号関係評議会委員に欠員が生じた場合、本次点候補者を同委員として選出することとした。

4 名古屋大学名誉教授称号授与について

総長から、各部局から推薦のあった令和4年度退職等教員29名に対する名誉教授の称号授与について、審議願いたい旨提案があった。

引き続き、総長から、名誉教授の審議に当たっては、本来であれば、各人の業績等について説明した上で投票願うべきところ、審議を効率的かつ迅速に行うため、事前に「名誉教授推薦調書」を送付したため、業績等の説明は省略する旨発言があった。

本件定足数を確認した後、投票による審議の結果、本件については、各部局から推薦のあった29名全員に対し、教育研究評議会として名誉教授の称号を授与することを了承した。

なお、投票の結果は、次のとおりであった。

大学院人文学研究科	木俣 元一	(投票総数 31 票 可 30 票)
大学院人文学研究科	栗田 秀法	(投票総数 31 票 可 31 票)
大学院人文学研究科	塩村 耕	(投票総数 31 票 可 31 票)
大学院人文学研究科	堀江 薫	(投票総数 31 票 可 31 票)
大学院人文学研究科	山本 直人	(投票総数 31 票 可 31 票)
大学院教育発達科学研究科	松下 晴彦	(投票総数 31 票 可 31 票)
大学院法学研究科	小林 量	(投票総数 31 票 可 31 票)
大学院法学研究科	鈴木 將文	(投票総数 31 票 可 30 票)
大学院法学研究科	増田 知子	(投票総数 31 票 可 31 票)
大学院経済学研究科	野口 晃弘	(投票総数 31 票 可 31 票)
大学院情報学研究科	大岡 昌博	(投票総数 31 票 可 31 票)
大学院情報学研究科	古賀 伸明	(投票総数 31 票 可 31 票)
大学院情報学研究科	吉田 久美	(投票総数 31 票 可 31 票)
大学院情報学研究科	渡邊 崇	(投票総数 31 票 可 31 票)
大学院理学研究科	森 郁恵	(投票総数 30 票 可 30 票)

大学院生命農学研究科	小鹿 一	(投票総数 31 票 可 31 票)
大学院生命農学研究科	松本 省吾	(投票総数 31 票 可 31 票)
大学院生命農学研究科	森 仁志	(投票総数 31 票 可 29 票)
大学院多元数理科学研究科	木村 芳文	(投票総数 31 票 可 31 票)
大学院多元数理科学研究科	小林 亮一	(投票総数 31 票 可 31 票)
大学院多元数理科学研究科	金銅 誠之	(投票総数 31 票 可 31 票)
大学院多元数理科学研究科	松本 耕二	(投票総数 31 票 可 31 票)
未来材料・システム研究所	片山 新太	(投票総数 31 票 可 31 票)
未来材料・システム研究所	中村 光廣	(投票総数 31 票 可 31 票)
宇宙地球環境研究所	徳丸 宗利	(投票総数 31 票 可 31 票)
脳とこころの研究センター	礪田 治夫	(投票総数 31 票 可 31 票)
低温プラズマ科学研究センター	堀 勝	(投票総数 31 票 可 31 票)
総合保健体育科学センター	山本 裕二	(投票総数 31 票 可 31 票)
アジア共創教育研究機構	根本 二郎	(投票総数 31 票 可 31 票)

報告事項

- 2022 年度 JST「創発的研究支援事業」結果報告について
加藤学術研究・産学官連携推進本部部長補佐から、配付資料に基づき、2022 年度 JST「創発的研究支援事業」結果報告について、報告があった。
- 災害対策室長候補者選考及び無期転換審査について
門松副総長から、配付資料に基づき、災害対策室長候補者選考及び無期転換審査の結果について、報告があった。
- 東海国立大学機構プラットフォーム（仮称）の工事範囲等について
木村副総長及び新美建築課長から、配付資料に基づき、東海国立大学機構プラットフォーム（仮称）の工事範囲等について、報告があった。
- 卓越教授の称号付与について
門松副総長から、配付資料に基づき、卓越教授の称号付与について、報告があった。
- 教育研究評議会分科会報告について
門松副総長から、配付資料に基づき、教育研究評議会分科会の議事内容について、報告があった。
- 機構長・総長報告
機構長及び総長から、配付資料に基づき、3月7日開催の教育研究評議会以後に開催された各種会議の議事内容について、報告があった。

意見聴取

- 令和5（2023）年度名古屋大学の執行体制（職務担当）案について
総長から、令和5（2023）年度名古屋大学の執行体制（職務担当）案について、意見聴取したい旨発言があった。

引き続き総長から、配付資料に基づき令和5（2023）年度名古屋大学の執行体制（職務担当）案について説明があった後、意見聴取の結果、本件については、教育研究評議会として了承することとした。

2 国際卓越研究大学への申請について

総長から、国際卓越研究大学への申請について、意見聴取したい旨発言があった。

引き続き総長から、配付資料に基づき国際卓越研究大学への申請について説明があった後、意見聴取の結果、本件については、教育研究評議会として了承することとした。

以 上